

2010年 3月 10日

島根大学長 殿

研究者名 (代表者名)

杜 霊通 ㊞

2009年度研究奨励助成 研究報告書

研究分野	(該当する分野を○で囲んでください。)	
	<input checked="" type="radio"/> 1. 寧夏南部山区と日本の中山間地域の持続的可能な発展に関する研究 <input type="radio"/> 2. 生態系・環境の保護と再生に関する調査研究 <input type="radio"/> 3. 農業経済と社会発展の比較に関する調査研究	
研究者の連絡先		
実施期間	2009年3月 ～ 2009年12月	
<p>研究の実績・成果の概要</p> <p>本研究では、ベルギーFlemish 研究所 (Flemish Institute for Technological Research) の VGT 映像処理センターから正規化植生指標 (NDVI) を購入・ダウンロードした。そのデータは、東アジアを覆う SPOT 衛星の VEGETATION センサーが受信したデータに初期処理を施したもの、即ち VGT-S10 データ集で、1998年4月から2008年12月までの、合わせて387の画像データである。ENV14.2環境の下でデータが集中している NDVI を取り出し、同時に塩池県の矢量周辺のデータを切り取り、元の投影システムをオリジナルの投影システム (Albers 等面積円錐投影、Krasovsky 回転楕円形、中央子午線 105°、2本の標準緯度線北緯 25°・北緯 47°、中央緯度線 0°) に変換した。この長期の序列植生指標を用い、寧夏で1999年に行われた退耕還林以降の生態環境の変化を観測した。</p> <p>研究者は、寧夏南部山区の固原と紅寺堡へ赴き2週間の現地調査と資料収集を行い、関連地域の退耕還林・還草と生態治理プロジェクトの統計資料を収集した。また、この現地調査の結果とリモートセンシングによる調査結果を比較し、全面的に寧夏南部山区の生態治理プロジェクトが成し得た生態効果の状況を評価した。</p>		
区分	金額 (単位:円)	備考
1. 物品費	17,834.1	ポータブルハードディスク
2. 消耗品費	9,957.3	USB メモリー、印刷用紙等
3. 謝金等	8,173.9	調査協力、資料整理
4. 旅費・滞在費	44,246.3	調査
5. その他	19,788.4	写真現像、出版費等
計	100,000	